



旗手を務めた盛岡市の日高 浩さんを先頭に、開会式で元気に行進する岩手県選手団

第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019 岩手県選手団が健闘しました！

全国の主に60歳以上の方々を対象としたスポーツと文化の祭典「第32回全国健康福祉祭和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）」が、令和元年11月9日（土）から11月12日（火）までの4日間、和歌山県で開催されました。

【主な成績】 6位までを紹介

競技種目名	受賞者名	成績
◆スポーツ交流大会		
・ゲートボール	河北チーム	準優勝
・マラソン 10Km 女子 70歳未満	佐藤 裕子	第3位
・水泳(男子)		
65～69歳 25m平泳ぎ	工藤 栄三	第1位
50m平泳ぎ	工藤 栄三	第3位
75～79歳 25m背泳ぎ	築部 忠克	第5位
50m背泳ぎ	築部 忠克	第5位
80歳以上 25m自由形	佐々木 芳夫	第6位
50m自由形	佐々木 芳夫	第6位
・水泳(女子)		
70～74歳 50mバタフライ	西國 禮子	第5位
・リニアリング Mコース	三澤 儀男	第4位
・ウォークラリー くろしおコース	イーハトーブもりおかチーム	第5位(優秀賞)
◆文化交流大会		
・民謡	鳴海 みよ	優秀賞(2位相当)

ねんりんピックは、厚生省創立50周年を記念して、昭和63年に兵庫県で第1回大会が開催されて以来、毎年開催地を変えて開催されており、全国から約1万人の選手と役員が参加します。今回は岩手県から25種目の競技に145名の選手団が参加し、左記のとおり多数の入賞を果たすことができました。また、同時に開催された美術展では、書の部門において藤原節子さんの「小倉百人一首よ」が2年連続で銅賞を受賞しました。



12月13日(金)には、入賞した選手のうち3名が岩手県庁を訪れ、メダルなどを披露しながら、達増 拓也知事に活躍を報告しました。



マラソンのスタートの様子



華麗なステップを披露する
ダンススポーツ



岩手県庁1階の県民室で12月9日から13日まで、岩手県選手団の活躍を収めた写真展を開催しました。



ゲートボールの河北チームは、見事なチームワークで準優勝に輝きました！

ワーク・ライフ・バランス推進セミナーを開催しました

今年も仕事と子育ての両立を支援するためのワーク・ライフ・バランス推進セミナーを開催しました。昨年度から岩手県立大学と共催で開催しており、盛岡市の「プラザおでつて」を会場に約60名の方が参加されました。

第1部の講演では、先進的な働き方改革で知られている、サイボウズ㈱のチームワーク総研 統括ディレクター 和田 武訓氏を講師に招き、「働き方の変化に合わせた組織の進化」100人100通りの働き方とは」と題して、サイボウズ㈱の具体的な取り組みなどについてお話しいたきました。

働きたい人が働き続けられるように職場が柔軟に対応することで有能な人材の流出を防ぐ効果があること、また、様々な働き方の人材を上手く組み合わせることで全体のバランスがとれ、業務の効率化も図れることなど、大変参考となるものでした。約1時間の講演は終始和やかな雰囲気ですすみ、会場内には時折笑いも起こり、楽しい学びの場となりました。

第二部パネルディスカッションでは、子育て支援に取り組み岩手県内の企業3社からそれぞれの具体的な取り組みについてお話いただき、率直な意見交換が行われました。これからの職場における子育て支援について、会場の皆さんと一緒に考えることができました。

本紙に関するお問合せ先

公益財団法人いきいき岩手支援財団 総務・健康支援課 TEL:019-626-0196